

平成26年度 第3回 平塚市図書館協議会 会議記録 【要旨】

開催日時	平成26年12月25日(木) 9時30分～11時20分
開催場所	平塚市中央図書館 ホール
出席者	委員 葛西 裕美子 会長 諸山 朝子 副会長 村山 真由美 委員 加藤 利雄 委員 大河原 将太 委員 小島 明子 委員 事務局 後藤信幸 社会教育部長 見留俊也 中央図書館長 丸島隆雄 北図書館長 脇孝行 西図書館長 富田和博 南図書館長 所雅人 管理担当長 菊坂伸江 奉仕担当長 山田剛弘 管理担当主管
傍聴人	1名

会議の概要

1 あいさつ 葛西裕美子会長

2 議 事

(1) 事務局からの報告事項

【事務局】 資料1「一宮市立中央図書館視察報告」を基に説明を行った。

【委員】 非常に細かく見ていただき参考になった。委託後も職員が9名いると聞いているが、うち司書資格者は何名いるか。

【事務局】 事務長と庶務担当者以外は、全て司書資格者と聞いている。

【委員】 それは素晴らしい。仮に今後、地区図書館に指定管理者制度を導入する場合でも、一宮市のように中央図書館には司書資格者を残していただくようにしてほしい。

【委員】 60数名のスタッフが9時まで開館している窓口業務を全てこなしていると報告があったが、委託費はどの程度かかっているのか教えていただきたい。

【事務局】 約3年半の契約で、税抜で6億円程度と聞いている。

【委員】 想像していたより少ない金額と感じた。

【事務局】 資料2「学校図書館支援センター勉強会(報告)」を基に説明を行った。

【委員】 勉強会には参加できず残念だったが、報告をいただき感謝する。意見交換に時間を割き、多くの質問が出て、その内容も細かく報告いただいたが、それに対する回答はなかった。興味深い内容も多い。今後報告する予定はあるのか。

【事務局】 回答内容は把握しているが、個人的な見解もあると思うので、報告は差し控えた。

【会長】 参加した委員もいる。感想などがあればお願いします。

【委員】 勉強会に参加させていただき、365日開館を実施したことにより、月曜日の利用者が、土日を上回ることが多いというのは驚いた。土日に本を読み返却してまた借りるというサイクルがあるのでと思った。また「指定管理者制度導入によりイベントが充実」も印象に残った。良い部分だけでなく学校図書館の支援では、「調べ物学習が充実したが、各校の需要の時期が集中し、調整に苦労している。」など課題も紹介していただき学校司書の経験者としては共感した。

【事務局】 資料3「平塚市図書館に広告マツを設置する事業者を募集します」を基に説明した。

【質疑】 特になし

(2) 委員からの提案や報告事項

- 【委員】 委員提供資料4-1「子ども読書応援定期預金Ⅱ」を基に説明を行った。
- 【委員】 平塚信用金庫は、子ども読書活動推進事業が始まった当初から花水支店に本のリサイクルボックス設置し、非常に読書活動に協力的である。このたび「子ども読書応援定期預金Ⅱ」を発売し、収益の一部を図書館の蔵書などに寄附することになった。平塚市図書館にも寄附しているが、寄附の受入状況の確認と、原資となる「子ども読書応援定期預金」のPRを行政も協力することを提案したい。
- 【事務局】 寄贈側としては、図書館の一角に寄蔵した児童書コーナーの設置希望があったが、新たな場所を確保することが困難なため、寄贈書に装備をし、寄贈された図書であることを借りた人には分かるようにした。ただし、近隣市の図書館では、新たにコーナーを設置したところもあると聞いている。PRについては商品であるため、今のところ行う予定はない。
- 【委員】 広告マットの例にもあるように、企業との連携も今後深めていく必要が高まっていると考える。検討していただきたい。
- 【事務局】 私見だが、「子ども読書応援定期預金」のPRに限定すれば、図書館事業の活性化にもつながるので、すぐには難しいが、何らかの協力方法の検討する必要があると考える。
- 【委員】 委員提供資料4-2「鳥取県立図書館 ふるさと納税文庫とホンとに役立つ鳥取県図書館活用術」を基に説明した。
- 【委員】 ふるさと納税の特典競争が過熱し、中には年間10億円以上を集めたという自治体があると聞く。特典競争は話題が逸れるので省略するが、制度を活用し、児童室の図書を充実した取組があるので紹介した。またこうしたものはPRが大事である。鳥取県立図書館では図書館をPRするDVDを製作している。なかなか興味深いので紹介させていただいた。
- 【質疑】 特になし



### (3) 平塚市子ども読書活動推進計画（第三次）

- 【事務局】 資料5-1「平塚市子ども読書活動推進計画(第三次)素案」を基に説明を行った。
- 【質疑】 特になし
- 【委員】 委員提供資料5-2「新学習指導要領 生きる力」を基に説明を行った。
- 【質疑】 特になし
- 【会長】 かなりの分量の資料であるため、なかなか意見は出にくいと思うが、項目を絞って御意見をいただくと良いと思う。一人ずつ意見をお願いする。
- 【委員】 こういったものは一旦原点に帰ると良いと思う。平塚市の図書館は、かつて医学書などの小さい子どもを持つ親向けの蔵書が充実していた。若い母親が来くなるような施設の整備や蔵書がないと、図書館を利用する子どもが増えることにつながらないので、こうした点をできれば少し計画に盛り込むと良いと思う。
- 【委員】 第二次計画の事業の指標を全部把握していないが、例えば、既に全校で策定済の読書計画を作成するといったものがあつた記憶があるが、第三次計画でも同様の指標を作成するのか。
- 【事務局】 現在、担当課に照会中だが、取組事業の進行管理では、同様な指標を設定する予定である。
- 【委員】 他にも図書だよりなども同様だった記憶があるが、充実と謳っていながら、既に全校で実施している取組にわざわざ指標を設定することはあまり意味がない気がする。

- 【事務局】 担当課には「全校や全園で実施しているから良い」といった指標はあまり望ましくないということをお願いしたが、担当課の意向があり、こうした指標を設定した。
- 【事務局】 委員の御指摘のとおりだと思う。担当課の意向もあるが、協議して修正可能なものは修正するよう依頼したい。
- 【委員】 多様な連携の中で、例えば、多くの関係機関と連携して、読書へのアプローチを図っていくと説明があったが、きっかけとなる年代はいつからになるのか。また保健所とも連携をしていく必要があると思う。
- 【事務局】 既に乳幼児期から健診時などでPRし、市の健康課で訪問時健診等に行っている。
- 【事務局】 保健所は県の機関のため、御指摘のとおり、市の保健センターなどと比べて、読書関係で県の機関との連携はまだ少ない状況である。
- 【委員】 大学等との連携は、インターンシップなどは分かるが、他にどのようなものがあるのか。
- 【事務局】 大学図書館の蔵書の展示や、学生が作成した紙芝居や高校図書館で読まれている本の紹介などがある。定期的に意見交換を行っており、その他にもいくつかアイデアを持っている。
- 【委員】 第二次計画に関わり、他市の子ども読書活動推進計画と比較し、今回の計画書は読みやすく、良い意味で行政文書らしくない印象を持った。他の図書ボランティアも同様の感想を述べているので、全体的な構成はこのままでお願いしたいと思う。補足させていただくと「考える力」を頭に出している割には、読書は「自分で調べて得た情報を生かしていく」というものなので、この部分をもう少し盛り込むとさらに良い計画書になると思う。

#### (4) 今期の図書館協議会の総括と次期に向けて

- 【事務局】 資料6-1「平成25年度・平成26年度平塚市図書館協議会報告書(案)」資料6-2「平成23年度・平成24年度平塚市図書館協議会報告書」を基に説明を行った。
- 【会長】 事務局から提案があった今期の報告書(案)の方が、何を協議した分かり易くまとめられており、こちらに変更した方が良いと思う。
- 【事務局】 承知した。次回の図書館協議会では、完成したものを提示し、最終(案)としてまとめてみたい。
- 【事務局】 資料7「次期図書館協議会スケジュール(案)」を基に説明を行った。
- 【委員】 将来像を持つことは大変重要で、案は概ね良いと思う。この中央図書館はまだ花水公民館のプレハブに図書室があった頃に構想されたものであるが、その後整備された地区図書館も含めて、その多くは実現した。地区図書館が整備されたことで、地区ごとのニーズを調査することは必要で、穴がある場所もあると思う。東海大学などの大学図書館との連携はまだ弱い。こうした点も次期の図書館協議会で検討していただければ良いと思う。

#### (5) その他

- 【事務局】 次回の図書館協議会は平成27年3月26日(木)14時から平塚市中央図書館3階ホールで開催を予定したい。
- 【会長】 閉会を告げた。

以上